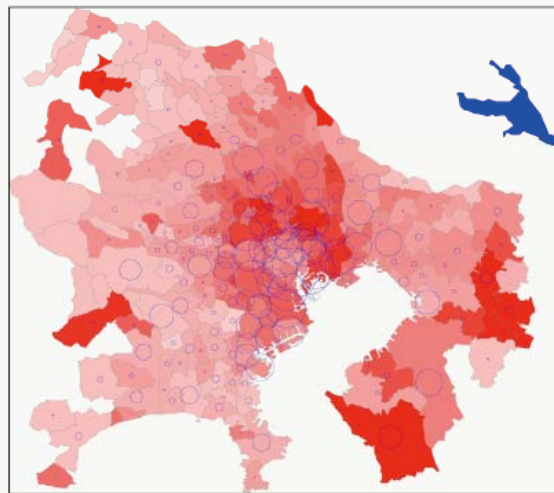
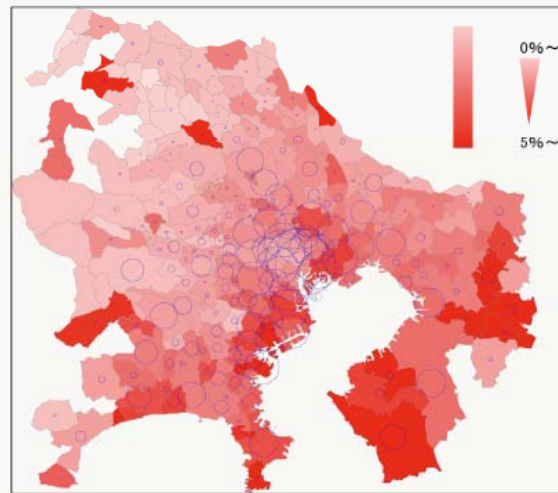


2008年6月14日
 岩手・宮城内陸地震
 M=7.2 KiK-net 観測点
 IWTH25 (一関西)

地震被害発生時経済活動力評価 ΔEV , $\Delta EV/EV$



想定区部直下地震による経済活動力低下率
 $\Delta EV/EV$ (Circle Size : ΔEV)



想定南関東地震による経済活動力低下率
 $\Delta EV/EV$ (Circle Size : ΔEV)

耐震技術

防災

長橋 純男 教授

耐震設計用入力地震動
 評価、都市地震危険度
 評価

建築物の耐震設計用地震荷重をどのように見積もるかは、とくに兵庫県南部地震の後、設計者にとっての大問題であり、建物の性能を左右する重要な課題である。また、南関東地震や直下地震により首都圏ではどのような被害が(経済社会的な被害も含め)どの程度生じるのか、またこれに伴って首都圏の機能にどのような影響が生じるのかを事前に予測しておくことが大切である。このような問いに対し、設計用地震荷重および地震危険度評価などを主に研究している。